

教科(国語) 科目(国文研究) 学年(3年) 単位数(3)

類型(共通 ・ 文 理)

履修規定(必修 ・ 選択)

学習の目標					使用する主な教材				
○各単元ごとに、テーマに関連してジャンルや立場の異なる様々な文章を読む力を養う。 ○古今の作品との対話を通じて日本人としての感性や精神性の変遷を知るとともに、思想の違いを比較したり伝統や言葉について考えたりすることで新しい視点や深い思考を獲得させ、人格の成長を促す。					・教科書 明説現代文読本スタンダードレベル 〔評論・小説〕編(尚文出版) 自主教材〔古典〕(松山北高等学校) ・問題集 ベースノートブック明説現代文読本(尚文出版)				
					評価の観点				
					①関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力 ⑤知識・理解				
期	月	単元	教材	主な単元の目標と具体的学習内容	主な評価の観点				
					①	②	③	④	⑤
1	4	言葉について考える。	評論「日本語はなぜ美しいのか」	・評論文の構成を意識して内容を読み取る。 ・日本語の存在価値について考える。	○			◎	○
			古文「古今和歌集 仮名序」	・古今和歌集の成立と歴史的意義を理解する。 ・既習の和歌と関連付けて鑑賞力を深める。	◎			○	○
			漢文「荘子」天道	・書物の言葉と技術について読み取り、自己の考えと比較する。	○			◎	○
			評論「日本語が亡びるとき」	・作家の立場から語られる言語論を読解する。 ・「普遍語」とは何か話し合い、理解を深める。	○	◎			○
	6	愛について考える。	評論「愛情と孤独」	・愛と孤独についての評論を読み、考えを深める。	○			◎	○
			古文「和泉式部日記」夢よりも	・和歌をもとに和泉式部の心情を読み解く。 ・平安時代の恋愛について調べ、現代と比較する。	○		○		◎
			漢文「韓非子」八説 第四十七、「墨子」兼愛中第十四	・古代中国の母性愛を読み取る。 ・「兼愛」の思想の概要を理解し、諸子百家の思想と関連付ける。	◎			○	◎
			小説「サボテン」	・小説特有の文章技法や描写に注目して読む。 ・母に反発する娘の複雑な心情を読み取る。	○		○	◎	
2	8	芸術について考える。	古文「徒然草」題55段、82段	・家や書物について述べた筆者の考えを読み取り、現代の建物や書籍のデザインと比較することで考えを深める。	○	○		◎	
			評論「新しい様式の創造」	・明治以降の日本美術に関する知識を深める。 ・日本文化論の典型的な文章展開を理解する。	○			◎	○
			評論「和の思想」	・既習の文章と関連付けながら日本の芸術について考えを深める。	○			○	◎
			古文「宇治拾遺物語」絵仏師良秀	・物語に描かれた仏師の考え方を理解し、「地獄変」(芥川龍之介)と読み比べて芸術について自己の意見をまとめる。	○		◎	○	
	10	日本人の精神世界について考える。	小説「雁の親子」	・粗筋を読み取る練習をする。 ・仏教的な世界観が背景にあることを理解した上で、作品に表れた作者の心情を読み取る。	○			◎	○
			古文「源氏物語」葵・若菜下	・物の怪の正体を読み取り、平安時代の人々の生活や精神世界について理解を深める。 ・源氏物語の人物相関図を参考に、複雑な人間関係を踏まえて読解する。	○			○	◎
			評論「江戸の妖怪革命」	・「妖怪」と「幽霊」のイメージの変化を読み取る。 ・現代の「靈感」について、本文をもとに話し合う。	○	◎		○	
			漢文「論語」	・論語の名言について既習事項を確認し、暗誦する。 ・孔子の弟子たちの人となりを読み取る。	○	○			◎
12	まとめ	・日本文化や精神世界について感想をまとめる。	○		◎		○		

3	1	時代と希望について考える。	評論「希望のつくり方」	・希望と物語の共通性を読み取る。 ・希望を持ち、それを実現するための四本柱について理解を深める。	○			◎	○
			古文「平家物語」	・軍記物語特有の文体に読み慣れ、現代訳する。	◎			○	○
			小説「君たちはどう生きるか」	・今の自分にできることは何か考えて文章化し、自分と向き合う。	○	○		◎	
	2								
	3								
評価の方法		①関心・意欲・態度 国語を用いて伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上をはかろうとしている。 ②話す・聞く能力 目的や場に応じて効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ③書く能力 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ④読む能力 文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ⑤知識・理解 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。 ①～⑤の観点に基づいて、授業や課題への取り組みやその成果物、定期考査等を総合的に判断する。							